

「生活のための日本語」日本語支援ボランティアについて

平成31年2月19日（火）からいよいよ「日本語支援ボランティア養成講座」が始まります。

鹿児島市国際交流財団では講座の受講だけでなく、その後もご活躍いただくことを強く願っていますので、「財団で行っている日本語支援とはどういったものか？」ということをご紹介しますと思います。

特徴その1

キーワード：「マンツーマン（1対1）支援・90分・朝10時～11時30分／午後13時30分～15時・週1回で全8回の支援」

支援時間	火	水	金	日
午前(ごぜん) 10:00～11:30	①		③	④
午後(ごご) 1:30～3:00		②		



・ボランティアの方のスケジュール等、外国人の方の日本語レベルや時間の都合などを聞き、事務所の方でスケジュールを組んでいきます。日本語以外の語学は必要ないですが、出来るのであればそれを活用することも可能です。

特徴その2

キーワード：「マッチング・顔合わせ・ニーズ把握」

・実際の支援の前に顔合わせを行います。そこで日本語支援の説明や、ボランティアと外国人の方が実際に話して支援のプランを立てていきます。

・週1回90分の支援を1月～3月の間に8回行います。都合の悪い時は二人で話し合っ、他の時間に支援を行うことも可能です。



特徴その3

キーワード：「生活のための日本語支援・レベルに応じた支援のやり方」

・文法中心ではなく、「生活のための日本語」支援を在住外国人の方に行い、より鹿児島市で生活しやすくなってもらうことが目的です。

- ・特定のテキストや教え方について学ぶのではなく、「日本語支援ボランティア養成講座」を受講することにより、文化の違い等に配慮して対等の立場で効果的に支援するための、意識や知識を身に付けることが重要です。



※在住外国人への案内より

- ・^{まな}学べることの^{れい}例 Examples of things you can learn

→「^{せいかつ}生活のための^{にほんご}日本語」 “Japanese for Daily Life”

^{しょきゅう}初級 Elementary

- ・^{きほんてき}基本的な^{かいわ}会話（^{みち}道の^{ききかた}聞き方・^{ちゅうもん}注文の^{しかた}仕方など） Basic conversation (How to ask for the direction. How to order a food etc.) ・ひらがな／カタカナ Hiragana/Katakana など etc.

^{ちゅうきゅう}中級 Intermediate

- ・^{せいかつじょうほう}生活^し情報を知る（^すゴミの^{かた}捨て方・^{びょういん}病院・^{がっこう}学校など） Learn about information for daily life (How to throw away garbage, hospital, school etc.)

^{じょうきゅう}上級 Advanced

- ・^{せいかつ}生活をしていく^{なか}中での^{いろいろ}色々なことを^し知る Learn about various things in daily life.
【例】 ^{しんぶん}新聞^{きじ}記事・^{しごと}仕事・^{ぜいきん}税金などについて話し合う。
【Example】 Talk about newspaper articles, work, tax etc.